

令和5年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

健康づくり推進課

1 施設の概要等

施設名	広島県立広島がん高精度放射線治療センター		
所在地	広島市東区二葉の里三丁目2番2号		
設置目的	がんの治療水準の向上を図るため、がん患者に対して放射線による治療を提供する。		
施設・設備	リニアック治療室、診察室、治療計画室、患者待合スペース等		
指定管理者	2期目	H31.4.1～R6.3.31	(一社) 広島県医師会
	1期目	H27.10.1～H31.3.31	(一社) 広島県医師会

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	新規患者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	2期	R5	695人	649人	△111人
R4		662人	760人	134人	98人 (114.8%)
R3		693人	626人	16人	△67人 (90.3%)
R2		693人	610人	△76人	△83人 (88.0%)
R1		643人	686人	109人	43人 (106.7%)
1期平均 H27～H30		588人	521人	—	△67人 (88.6%)
(導入前)		—	—	—	—
増減理由	4基幹病院（広島大学病院、県立広島病院、広島市民病院、広島赤十字・原爆病院）からの紹介患者数は目標値を上回ったが、その他の病院からの紹介患者数について、見込みを下回り、目標は未達となった。				

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	センターの医療サービスに対する患者の満足度調査を実施	センターで治療を受けた患者を対象に10月に実施（有効回答数124名）
	【主な意見】	【その対応状況】
	治療台での寝起きや移動が難しいため、上から紐を設置して欲しい。 予約時間を遅らせた。い。	治療機器の動作・照射の関係で紐や手すりの設置はできないが、可能な限り、手を引く・肩を貸すなどの補助を行う。 原則毎日同じ時間で予約としているが、可能な限り要望にお応えするよう調整する。

4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書
	月報	○ 治療実績等報告
	日報（必要随時）	○ 患者紹介状況報告、診療報酬請求報告
運営協議会（年4回・県庁他）	【特記事項等】	・4基幹病院、県、広島市、県医師会の7社で構成する運営協議会を通常年2回ペースで開催しているが、今年度は「新病院」との統合について協議したため4回開催した。
現地調査（4月～5月に実施）	【指定管理者の意見】	・運営に当たっては、県等と相談・連携しながら、丁寧に取り組む。
	【県の対応】	・センターは7者の連携共同事業として運営していることを踏まえ、指定管理者と十分に意思疎通を図りながら取り組む。

5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
	県委託料 (決算額)	2期	R5	7,482		0	料金収入 (決算額)	2期	R5
R4			7,482	0	R4	631,063			113,215
R3			7,482	0	R3	517,848			7,763
R2			7,482	68	R2	510,085			△13,465
R1			7,414	△185,262	R1	523,550			121,046
1期平均H27～H30		192,676	—	1期平均H27～H30	402,504	—			
(導入前)	—	—	(導入前)	—	—				

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R5 決算額	R4 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	7,482	7,482	0	
		料金収入	548,802	631,063	△82,261	患者数の減、利用料金制(※1)
		その他収入	0	0	0	
		計(A)	556,284	638,545	△82,261	
	支出	給与費	250,107	252,038	△1,931	常勤医師1名減
		材料費	8,659	10,689	△2,030	治療患者数の減
		水道光熱費	26,362	28,671	△2,309	患者数の減に伴う使用量の減及び政府による「電気・ガス価格激変緩和対策事業」の影響による減
		消耗品費等	5,824	7,483	△1,659	治療患者数の減少に伴う使用量の減
		管理委託費等	168,190	172,643	△4,453	令和4年度は、エアコン室外機の保守更新を行ったため(約500万円)
		研修研究費	4,036	3,143	893	学会等への現地参加の増
修繕費		4,729	3,938	791	修繕個所の増	
その他		680	680	0		
計(B)	468,587	479,285	△10,698			
収支①(A-B)		87,697	159,260	△71,563		
自主事業 (※2)	収入(C)	—	—			
	支出(D)	—	—			
	収支②(C-D)	—	—			
合計収支(①+②)		87,697	159,260	△71,563	(うち県への納付額 87,697千円)	

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。
指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画、主な取組、新たな取組など)	県の評価
施設の効用發揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	<p>4 基幹病院とその他のがん診療連携拠点病院と連携したネットワーク型がんセンターとして、各医療機関からの紹介患者に高精度放射線治療を行い、開設以来、着実に紹介元医療機関数が増加している。</p> <p>診療では医療事故は発生しておらず、紹介元の医療機関、治療を受けた患者からも高い評価と信頼を得ている。</p>	<p>安全で質の高い放射線治療を、コロナ禍においても適切な感染対策を行ったうえで提供しており、設置目的である県のがん医療水準の向上に貢献できている。</p> <p>開業から8年半、事故なく運営できており、医療スタッフ等の対応についても評判は良く、高い信頼を得ている。</p>
	○業務の実施による、県民サービスの向上	<p>平成29年度から開始した人材育成セミナーを会場とWebの併用開催とし、放射線治療に携わる人材育成を積極的に行うとともに、平成28年度から開始した放射線治療技術の均てん化を目的とした技術支援を充実した。</p>	<p>人材育成においても研修の開催や技術支援の内容を拡充させるなど、放射線治療の水準の向上に貢献している。</p>
	○業務の実施による、施設の利用促進	<p>センターのホームページについて、アクセス解析等を実施し、HIPRACの治療内容や治療実績等の説明を定期的に更新している。</p> <p>さらなる連携強化を図るため、県内外の医療機関へのセンター長訪問の積極的な実施や、一般県民への認知度向上を図るため、県民公開セミナーを会場とWebの併用で開催した。</p> <p>また、放射線治療部門のない医療施設へセンターの医師を派遣し、専門外来を設置する「HIPRAC外来」を引き続き実施した。</p>	<p>新規紹介患者数は、前年度と比較すると複数の医療機関のリニアック本格稼働の影響等により減少に転じているが、引き続き、県民公開セミナーの開催やチラシ・ポスターの配布、「HIPRAC外来」等の紹介患者数を増やすための活動を積極的に行っている。</p>
	○施設の維持管理	<p>施設内外の巡回や日常の機器メンテナンス等を通じて汚損や故障等の把握に努め、安全性と清潔さの維持に努めている。</p>	<p>施設の巡回を適切に行い、汚損等に対応しており、医療機関にふさわしい医療安全・感染対策が行われている。</p>
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	<p>高度な専門性を有する医療スタッフを確保し、安全かつ適切な医療を提供している。</p>	<p>専門性の高い医療スタッフを確保できている。</p>
	○効率的な業務運営	<p>委託費の縮減に向けた取組や、時間外勤務の縮減のための業務効率化、光熱水費等の費用の節減に努めた。</p>	<p>機器の保守、管理委託料、光熱水費、診療材料、消耗品等の経費の節減だけでなく、人件費等の固定経費の精査をした上、時間外勤務縮減のため業務効率化に努めている。</p>
	○収支の適正	<p>複数病院のリニアック本格稼働により患者数、収入ともに目標を下回った。その中で、高精度率を高める等、当センターの高精度放射線治療の機能發揮に努めた。引き続き、上記の取組を継続的に実施していく必要がある。</p>	

項目	指定管理者 (事業計画、主な取組、新たな取組など)	県の評価
総括	<p>放射線治療を必要とするがん患者に対して、迅速かつ丁寧に、安全で質の高い治療を提供した。</p> <p>今後も、紹介患者数の増加に向けた取組を継続するとともに、センター設置目的のもう一つの柱である「人材育成」や「技術支援」についても、更なる拡充を進める。</p> <p>また、高精度放射線治療の対象となる患者数の増加に向けた取組を行う。</p>	<p>患者に対し、質の高い放射線治療を安全に提供できており、施設の目的に沿った運営がされている。</p> <p>令和5年度は紹介患者数及び収入が目標を共に達成できなかった。このため令和6年度は、4基幹病院以外の病院も含め、施設の認知度向上やセンターの優位性のPR等を行い、センターの設置目的に沿った、高精度放射線治療の対象となる患者数をより増やしていく必要がある。</p>

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和6年度)	<p>センターの行う特徴的な治療等について積極的な広報や医療関係者への働きかけを進め、紹介患者数の増加を図る。</p> <p>引き続き、安全かつ質の高い医療の提供を行う。</p> <p>県内外医療機関の放射線治療の品質管理に対して、技術的な支援を行う。</p> <p>人材育成に資する取組を強化する。</p>	<p>引き続き、適切な目標治療患者数を設定した上で、指定管理者と協力し、4基幹病院だけでなく、それ以外の医療施設にもセンターで行う治療や感染対策について積極的にPRし、更なる患者紹介・収入確保につなげる。</p> <p>患者増に伴う業務過多により、医療の質を低下させないよう業務管理を徹底する。</p>
中期的な対応	<p>着実に治療実績を集積し、適時の情報提供のための体制を強化し、他科からの患者紹介の増につなげる。</p> <p>高精度放射線治療を担う医療人材を育成する。</p> <p>収支均衡を図り、安定した事業運営を行う。</p>	<p>センターの優位性を客観的に示せるよう、治療実績を集積し検証する。</p> <p>不足している放射線治療に係る医療人材の育成を推進する。</p> <p>運営費の補填を行うことがないように引き続き運営コストの縮減を図る。</p>